

大 使 館 情 報

2018 年 8 月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢等（7月発表の経済指標）
- (2) 経済政策等
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢（7月の出来事）

[内政]

- (1) カブラル前リオ州知事への贈賄でアイケ・パチスタに30年の禁固の判決
- (2) ヨムラ労働大臣の辞任
- (3) ルーラ元大統領の仮釈放を巡る動き
- (4) 大統領選挙の動き

[外政]

- (1) 日伯関係
- (2) 第12回ポルトガル語諸国共同体（CPLP）首脳会合
- (3) 第10回BRICS首脳会合
- (4) 伯ニカラグア関係

3. トピックス

- (1) 日本人ブラジル移住110周年記念：連邦下院議会レストランにおける「国際和食ウィーク」の開催
- (2) 山田大使によるグアルディア財務大臣への表敬訪問
- (3) 鬼太鼓座の公演（在クリチバ総領事館）
- (4) フロリアノポリス市での第4回七夕祭りの開催（在クリチバ総領事館）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢等（7月発表の経済指標）

（ア）中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査に基づくGDP成長率予測に関し、7月27日時点では、2018年のGDP成長率見通しは1.50%で先週から横ばい、2019年のGDP成長率見通しは2.50%とされた。また、2018年のインフレ率見通しは4.11%で先週から横ばい、2019年のインフレ率見通しは4.10%とされた。

（イ）5月の鉱工業生産指数は、同月発生のトラック運転手ストライキで物流が停止したことを受け、前年同月比▲6.6%となり、13か月振りのマイナス成長を記録したほか、前月比では▲10.9%となり、2008年12月以降で最大の下げ幅となった。

（ウ）5月の小売売上高は、前年同月比+2.7%となり14か月連続でプラスを記録した一方、前月比では▲0.6%となり、1か月振りのマイナス成長を記録した。

（エ）全国の失業率（4～6月の移動平均）は12.4%となり、前回の公表値（3～5月の移動平均）から0.3%下落して3か月連続で改善した。

（オ）5月の貿易収支は、輸出額は202.05億ドル（前年同月比+2.2%、前月比+5.6%）、輸入額は143.20億ドル（前年同月比+13.7%、前月比+7.8%）で、差引き58.85億ドル（前年同月比▲18.1%、前月比+0.3%）となり、40か月連続で貿易黒字を記録した。

（カ）6月の拡大消費者物価指数（IPCA）は、5月に発生したトラック運転手ストライキの影響で食料品価格が高騰したため、単月で1.26%となり、前月の0.40%から大幅に上昇した。また、過去12か月累計では4.39%となり、政府のインフレ目標（4.5%±1.5%）内の水準で推移している。

(2) 経済政策等

（ア）7月5日、ブラジル政府は、税制優遇措置により電気自動車とハイブリッド車の生産と販売を促進する新産業政策「Rota2030」を発表。

（イ）7月11日から、ペトロブラス社は製油所でのガソリンAの1リットル当たりの価格を値上げ。ディーゼル油の価格はトラック運転手からの返還請求に対応するため、価格は固定されている。

（ウ）7月12日、グアルディア財務大臣は、「国家財政の危機は、2002年の政権移行の時よりも深刻。財政予算のプログラムを見直し、GDP成長率1.6%の成長を目指そう。」と発言。

（エ）7月26日、南アフリカで開催されていたBRICS首脳会合において、BRICS銀行の米州地域事務所を2019年までにサンパウロ及びブラジリアに開設することが発表された。

(3) 中銀の金融政策等

7月31日・8月1日、中銀の金融政策委員会（Copom）は、前回に引き続き政策金利（Selic）を年率6.50%に据え置くことを全会一致で決定。政策金利の据え置き決定は、3会合連続となった。

(4) 為替市場

（ア）7月の為替レートは、前月に引き続き米中貿易摩擦への先行き不安からドル高リアル安で推移した後、トランプ米国大統領のドル高牽制発言、ブラジル大統領選挙での中道派有力候補へ

の支持拡大からレアル高が進行する展開となった。

(イ) 7月の前半は、米国の対中関税リストの追加公表など、米中貿易摩擦に対する不透明感から世界的に新興国通貨が売られる展開となり、1ドル=3.8から3.9レアル台で推移した。

(ウ) 7月の後半は、トランプ米国大統領によるドル高牽制発言、ブラジル大統領選挙にて市場が改革派として待望する中道派のアルキミン・元サンパウロ州知事への中道派諸政党支持表明の拡大、米欧貿易交渉の一定合意等からレアルが買い戻され、一時的に1ドル=3.6レアル台までレアル高が進んだ。月末は、1ドル=3.7574レアルで取引を終えた（前月比3.1%のドル安・レアル高）。

(5) 株式市場

(ア) 7月のブラジルの株式相場（Ibovespa）は、月の序盤の小幅な変動の後、為替相場と同様に、アルキミン元サンパウロ州知事への中道派諸政党支持表明から市場の期待が高まり、一貫して上昇し続けた。

(イ) 7月の前半は、前々月に発生したトラック運転手ストライキによる株価下落からの緩やかな回復となり、13日に76594.35ポイントを記録した。

(ウ) 7月の後半は、現政権の改革路線を引き継ぐアルキミン元サンパウロ州知事に対して中道派諸政党が支持を表明し、8月以降のテレビ討論会で同候補が長時間の放送枠を確保する見込みである点、国営電力会社エレトロプラス社の配電企業のオークションがあった点等を受け、一時80000ポイントを超える上昇を記録した。月末の株価指数は79220.43ポイントとなり、前月比＋8.88%の上昇となった。

2. ブラジル政治情勢（7月の出来事）

【内政】

(1) カブラル前リオ州知事への贈賄でアイケ・バチスタに30年の禁固の判決

7月2日、ブレタス・リオデジャネイロ連邦地方裁判事は、企業経営者のアイケ・バチスタ被告に対し、贈賄と資金洗浄の罪で禁固30年、カブラル前リオデジャネイロ州知事には禁固22年8か月の有罪判決を下した。なお、バチスタ被告は、2011年にカブラル前州知事に対して1,660万ドルを贈賄したとされる。

(2) ヨムラ労働大臣の辞任

7月5日、ヨムラ労働大臣（当時）がテメル大統領に辞表を提出。これに先立ち、連邦最高裁は4日付けで、労働省による労組不正登録を巡る疑いでヨムラ大臣に停職を命じていた。7月10日、元地方労働裁判所判事のメロ氏が後任に就任。

(3) ルーラ元大統領の仮釈放を巡る動き

7月8日、ポルトアレグレ連邦地方高等裁（TRF-4）において、元PT党員の当審判事がルーラ元大統領の仮釈放を決定。ところが、同日のうちに同裁判所長官が右決定を却下し、ルーラ仮釈放を阻止するという動きあり。その後、ヴァス連邦司法高等裁判所裁判長（代行）は、ポルトアレグレ連邦地方高等裁（TRF-4）の当審判事の釈放命令を批判した上で、ルーラ元大統領の

「人身保護令」に基づく仮釈放を拒否する仮処分決定を下し、併せて、146 件の「人身保護令」による釈放要請を全て却下した。

(4) 大統領選挙の動き

7月20日、党大会日程が開始。8月5日までに各党は党大会を開催し、この期間に擁立候補や他党候補の支持を決定する見込み。7月20日、PDT（民主労働党）はシロ・ゴメス元国家統合相の擁立を決定。7月21日、PSL（自由社会党）はボルソナーロ下院議員の擁立を決定。8月4日には、PSDB（伯社会民主党）、MDB（伯民主運動）、PT（労働者党）の主要政党が党大会を開催予定。

【外政】

(1) 日伯関係

(ア) 7月4日～5日、連邦下院レストラン「SENAC」は、日本人ブラジル移住110周年記念事業として「国際和食ウィーク」を開催（当館共催）。

(イ) 7月9日、伯外務省は、西日本豪雨に関して、犠牲者の家族、日本政府、日本国民に対して、連帯の意を表明する旨の声明を発出

(ウ) 7月9日から22日にかけて、連邦議会ビルは、移住110周年記念として、日の丸を模した紅白イルミネーションを点灯。この試みは、オオタ伯日議連会長の発案によるもの。

(2) 第12回ポルトガル語諸国共同体（CPLP）首脳会合

7月17日～18日、テメル大統領は、カーボヴェルデで開催された第12回CPLP首脳会合に出席。人と移動、ポルトガル言語文化、創造産業、海洋に関する4本の成果文書が採択された他、これまでの成果と今後の目標を定めた「サンタマリア宣言」が署名された。テメル大統領は、2016年7月以降、伯はCPLP議長国として、「持続可能な開発のための国連アジェンダ2030」を方針として、CPLP内の協力（家族農業、衛生、司法、治安、防衛分野など）を進展させたと発言。なお、次期議長国はカーボヴェルデ（2018年7月～2020年7月）。

(3) 第10回BRICS首脳会合

(ア) 7月25日～27日、南ア・ヨハネスブルグで開催されBRICS首脳会合にテメル大統領が出席。

(イ) 会合では、新開発銀行の米州地域事務所本部に関する協定（サンパウロ米州地域本部事務所、ブラジリア事務所の設置）、BRICS地域航空に関する覚書が署名された他、PKOに関するBRICS作業部会やBRICSワクチン研究センターの設置等が承認された。

(ウ) テメル大統領は、首脳会合の-marginで、習近平中国国家主席、ラマポーザ南アフリカ大統領と二国間会談を実施。なお、2018年1月から伯がBRICS議長国に就任。

(4) 伯ニカラグア関係

7月23日、マナグア市のアメリカナ医科大生でブラジル国籍のライネイア・ガブリエレ・リマ氏が、ニカラグアの暴動に巻き込まれる形で死亡。伯外務省は24日及び25日に続けて声明を発

出し、事件に対する非難とニカラグア政府に対する真相解明を強く要請。更に伯外務省は、事実関係の確認のため在ニカラグア伯大使を本国に招集。

3. トピックス

(1) 日本人ブラジル移住 110 周年記念：連邦下院議会レストランにおける「国際和食ウィーク」の開催

7月4日～5日、連邦下院議会レストラン「SENAC」において、「国際和食ウィーク」が開催された。

同イベント開催に向けては、野原・大使公邸料理人による二日間にわたるレストランへの調理研修とイベント当日の調理監督を含め、当館としても成功に向けて全面的に協力を行った。また、レストラン・ホール内には日本酒試飲コーナー、展示スペースには日本文化紹介コーナー等を設置し、積極的な日本文化の広報にも努めた。

イベント開催中、レストランでは、2日間で800人余りという記録的な来客を数え、多数の方に、和食と日本酒、日本文化に触れて頂いた。



入口のバナー



大阪万博・広報ブース



伝統文化コーナー（山田大使夫妻）



日本酒試飲コーナー



盛況を博したちらし寿司等



野原料理人によるマグロ解体ショー



サボイア外務大臣官房長、アメリカ上院議員、山田大使、ニシモリ下院議員、ヨムラ労働大臣（当時）、ヘゼンデ下院議員



（２）山田大使によるグアルディア財務大臣への表敬訪問

7月3日、山田大使は、エドゥアルド・グアルディア財務大臣を表敬訪問した。山田大使とグアルディア財務大臣は、ブラジル経済について意見交換した他、山田大使より WCO（世界税関機構）事務総局長選挙での御厨事務局長再選について謝意を述べた。



（３）鬼太鼓座の公演（在クリチバ総領事館）

7月23日、クリチバ市において鬼太鼓座の公演が行われた。ブラジルの日系社会においては太鼓が盛んであり、長年に亘って磨き上げられた鬼太鼓座の職人芸に500人以上の観衆は魅了された。鬼太鼓座は、7月20日に、眞子内親王殿下が御臨席されたマリンガでの移民110周年記念式典にも参加した。



（４）フロリアノポリス市での第４回七夕祭りの開催（在クリチバ総領事館）

7月28日～29日、フロリアノポリス市において当館とニッポカタリネンセの共催で第4回七夕祭りが開催されました。これは、フロリアノポリスで最大の日本祭りで、太鼓、ヨサコイ踊りなどが披露されました。



4. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

(ア) 第25回サンパウロ国際図書展（ビエンナーレ）

日時：2018年8月3日（金）～12日（日）

月曜日～金曜日：9時～22時（最終入場は21時）

土曜日・日曜日：10時～21時（最終入場は19時）

場所：アニエンビ展示会場 - Avenida Olavo Fontoura, 1209 - Santana - São Paulo

内容：ブラジル各地をはじめとして、様々な国の出版社、書店、政府関連機関のブースが出展されるブラジル国内でも最大の図書展示会に国際交流基金のブースを出展し、日本関係図書を紹介する。

URL：<http://www.fjisp.org.br/>

(イ) 三島由紀夫再発見（サンパウロ）

日時：8月9日（木）～23日（木）

場所：ブラジル・シネマテーク（Largo Sen. Raul Cardoso 207, Vila Clementino）

ジャパン・ハウス・サンパウロ（Av. Paulista 52, Bela Vista）

サンパウロ大学日本文化研究所（Av. Prof. Lineu Prestes 159, Cidade Universitária）

内容：三島由紀夫をオマージュした事業として、映画上映会、講演、読書会及び文学作品に基づく舞踏パフォーマンスなどの複合的な文化イベントを実施。

URL：<http://fjisp.org.br/agenda/redescobrimdo-yukio-mishima/>

(ウ) 第7回日本祭り（ポルトアレグレ）

日時：8月18日（土）～19日（日）

場所：ポルトアレグレ市内州軍警察学校敷地内

内容：伯への日本人移住110周年を記念し、伝統舞踊、和太鼓、音楽、カラオケ大会、コスプレ大会、風呂敷、生け花、盆栽、着物、陶芸等の展示等の開催、焼きそば、天ぷら等の飲食物の販売など。

URL：<http://festivaldojapaors.com/>

(エ) 第12回サルバドル日本祭り・第27回盆踊り

日時：2018年8月24日（金）～26日（日）

金曜日：14時～22時

土曜日・日曜日：10時～22時

場所：Parque de Exposições de Salvador - Av. Luis Viana Filho, 405 - Itapuã, Salvador - BA

内容：日本祭り会場においては、様々なスペースで子供から大人まで楽しめる催しを実施される。また、日本から進化形ヒューマン・ビートボックスのREATMO（リトモ）を招へいし、メインステージ及びサブステージにおいて、ダイナミックで迫力のあるパフォーマンスを実施し、日本のポップカルチャーを紹介する。

URL：<http://www.bonodorisalvador.com.br/2018/>

(2) 外務省 海外安全ホームページ

各国の危険情報や安全対策など、海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点が掲載されている。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

2017年12月8日付で内容を改訂したので御確認いただきたい。以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっているので、詳細をホームページで確認いただきたい。

- ・ブラジリア連邦区（継続）
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市（継続）
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏（継続）
- ・アマゾナス州大マナウス圏（継続）
- ・パラ州大ベレン圏（継続）
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏（継続）
- ・バイア州大サルバドル圏（継続）
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏（継続）
- ・パラナ州大クリチバ圏（継続）
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市（継続）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_259.html

(イ) 安全対策基礎データ

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査や大使館、総領事館の緊急連絡先が掲載されている。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

(ウ) テロ・誘拐情勢

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html